

# 孫戸妍さん肖像写真



スワニーホワイエに掲げられている孫戸妍さんの肖像と短歌

ホワイエに韓国の歌人、孫戸妍（ソン・ホヨン）さんの肖像写真と、孫さんが詠んだ歌が日本語と韓国語で掲げられています。

「切実な望みが一つ 吾にあり 諍いのなき 国と国なれ」

日本の教育者であり文学者である中西進氏の書によるこの歌は、2005年6月、韓国で日韓首脳会談が行われた際、当時の小泉純一郎総理大臣が記者会見の席上で引用したことで有名になりました。

孫さんは韓国人でありながら、日本人より上手に短歌を詠んだ歌人です。80年の生涯で詠んだ歌は2000首をこえ、日本に歌碑を建てる夢を持っていたところ、様々な偶然や幸運が重なり実現することになりました。

スワニーが竣工する1か月前の1997年6月、経団連専務理事、故糠沢和夫（役職当時）氏や、附田建設株式会社社長、故附田義美（役職当時）氏らの協力を得て、六ヶ所村の尾駮レイクタウンに、念願の歌碑が建立されました。



尾駮レイクタウンにある孫戸妍さんの歌碑

歌碑建立ののち、そばにあるスワニーに肖像写真が飾られることになりました。



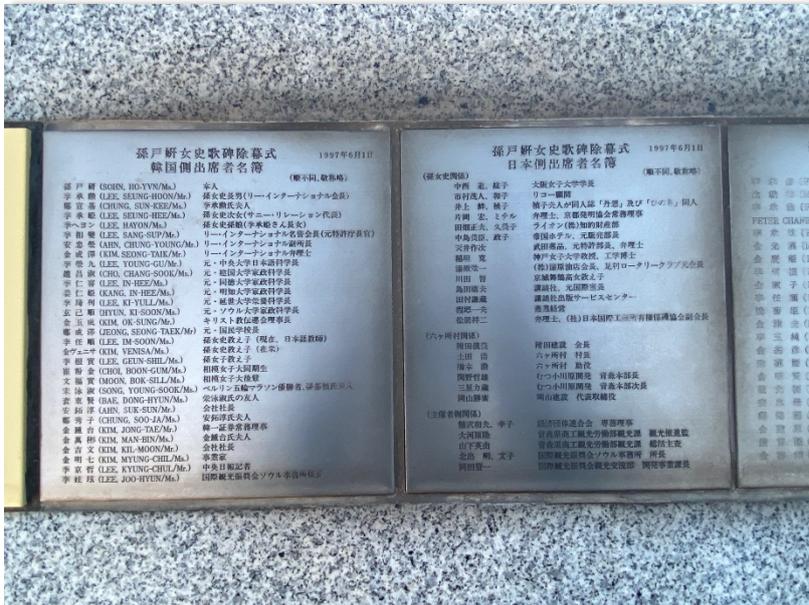
経済団体連合会専務理事  
糠沢和夫

経団連専務理事 糠沢和夫氏

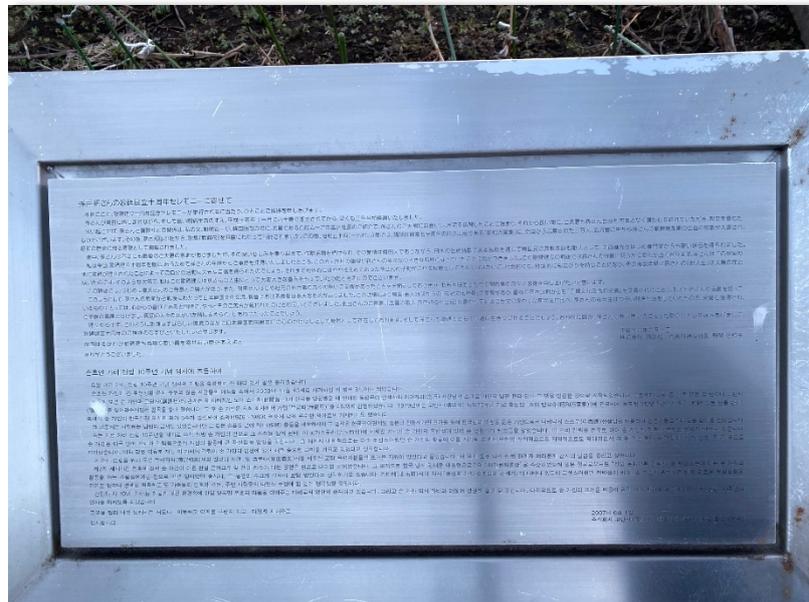


附田建設(株)会長  
附田義美

附田建設株式会社会長 附田義美氏



歌碑除幕式参列者名簿。左側が韓国出席者、右側が日本出席者



株式会社講談社 6代社長、野間佐和子氏によるお祝いの言葉。歌碑十周年記念式典にて

# 歌人 孫戸妍



孫戸妍 Son-Hoyun (1923-2003)

## 【略歴】

1923年11月15日、当時、早稲田大学の学生だった父孫洪九のもと東京生まれる。

生後間もなく帰国。

40年、帝国女子専門学校(相模女子大学の前身)に留学。

43年、に同校卒業後、帰国。日本の文部省より京城舞鶴高女教諭に任命される。その間、歌誌「心の花」の主催者、佐々木信綱博士に師事し、短歌を詠み始める。

44年、韓国に帰国し21歳で処女作「戸妍歌集」を講談社より出版。

47年に李允模(イ・ユンモ)氏と結婚、一男四女をもうける。その間、朝鮮動乱による三年余りの避難生活を体験。夫は韓国商工部の特許局長を務め、特許分野の発展のために貢献。退官後は国際工業所有権保護協会(AIPPI)の韓国支部長を長年務める一方、自身の特許事務所を経営した。

78年、万葉集や他の古典文学の研究のため三度来日、昭和女子大学大学院に学んだのち成城大学大学院で中西進教授(現・大阪女子大学長)の指導を受ける。

58年、講談社より「無窮花」出版。

68年、講談社より「第二無窮花」、80年に「第三無窮花」を出版。

83年11月、夫の急逝。

90年、夫との別れを詠んだ歌々を「第四無窮花」にまとめて出版。

※参考文献 「風雪の歌人 孫戸妍の半世紀」(北出明著)講談社出版・孫戸妍歌集(李承信編集)

# 「日韓友好の懸け橋に」



## 日韓友好の懸け橋に

### 2007 東西南北

### 韓国の和歌歌人・孫戸妍さん

六ヶ所村の風物を感じて高直に、韓国唯一の「和歌」の歌人といわれる孫戸妍(ソン・ホヨン)さんの歌碑が立っている。多感な学生時代を日本で過ごし、戦前・戦中・戦後と長く短歌を詠み続け、二〇〇三年、八十年の生涯を閉じた。わずか三十一文字には祖国韓国や日本との友好・平和への願い、家族や友人に対する愛が凝縮されている。戸妍さんの長女・李承信(イ・スンシン)さんら十二人がこの碑から六月で十年、多くの人たちが今も戸妍さんの「心のふるさと」になった本県、六ヶ所村を訪れ続けている。

(野辺地支局・珍田秀樹)

### 六ヶ所の歌碑 建立10年



承信さん(左)から韓国語・英語訳をした短歌集などを受け取る古川村長



孫戸妍さんの歌碑を訪れた韓国・ソウルからの一行。後ろに見えるのが「君よわが愛の」の歌碑

### 国内から 来訪者絶えず

君よわが愛の深さをた 案、同村の会社役員(附田めさむと) かりそめに 義美さん(名)の協力を得目を閉じたまひしや て九七年六月、風刺短歌に刻まれた短歌は、クタウンの一角に歌碑が一九八三年に急逝した夫 完成した。

李承信(イ・ユンモ) 母国の文化殿堂受賞

さんとの別を詠んだ。 歌碑建立が紹介された最愛の人の死を信じられ ない、信じたくないとい ことにより、母国で無名う思いが伝わってくる。 日韓経済協会の会報を 関心は急速に高まった。 通じてこの歌に出合った 自国の詩人(シジョ)で 当時のむつ小山開発会 はなく和歌を詠む戸妍さんへ、社社長・藤沢和夫さん に対し、植民地支配な が、日本に歌碑を建てた ことで反日感情のある韓国 歌を引用、話題を呼んだ。 承信さんが通うソウルの キリスト教会の友人(三

訪問が相次いだ。 二月二十一日、歌碑を 訪れた承信さんら一行 さんは建立当時を回顧し を、附田さんと、当時職 務さんの下で建立のため 奔走した三星力蔵さん のはとも光栄なこと 三が出席した。村文化 交流プラザ(スウニ) 承信さんは現在、孫戸 妍記念事業会理事長とし 師の一人で文学博士・中 西進氏の筆による聖隷幕 の人生の映像化などに取 が掲げられた。古川健治 村長はその前、「歌碑を と導いた家をモヤアリ 通じて村と日本、村と韓 国に新しい出会いをまき する」として、いつまで った。戸妍さんの心のふ 領府の青瓦台で開催され 会場で、小泉純一郎首相 も村を訪問してほしい」 と二行を歓迎した。

来訪したメンバーは、 承信さんが通うソウルの 祈りです。

名前はこの和歌をすり 込んでいる承信さん、韓 国では今、多くの知識人 が短歌に関心を持って いる。今後、父母の人生を 描いた映画を作ること と、母の記念館を日韓両 国に建てるのが目標。

年、教師さんに韓国語 に訳した母の歌集を贈っ たり、母の短歌を踊っ たところ、とても感動し たところ、以来、教会内 好、世界の平和が続き、 母の短歌ファンが増え、 見え、たむ村を訪れてい る」と承信さん。

何度も青森を訪れる 戸妍さんは元青い森の 特派員も務めており、承 信さんは「母は六ヶ所村 が大好き。村を詠んだ短 歌もたくさんある。母と 同じように、ここを訪れ た人たちは自然あふれる 村や青森県をとても気に 入り、何度も来ている人 もいるんです」と笑顔で 語る。

附田さんは「歌碑建立 に出たこと、戸妍さんに光 が当たっていることをど て、うれしく思う。交流

歌碑の建立から10年を迎えた2007年、六ヶ所村を訪問した孫さんの娘、李承信(イ・スンシン)さんらを紹介した当時の新聞記事。